

令和2年度 瀬谷養護学校不祥事ゼロプログラム年間検証について

取組み課題	目標	年間検証と課題
<p>○法令遵守意識の向上 （法令の遵守、服務規律の徹底）</p> <p>※下線がある項目は 全県立学校必須課題 （以下同じ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の内外を問わず社会人・公務員として自覚を持ち、法令を遵守し、公正に職務を遂行する。 	<p>通知收受時に文書掲示に加え、日々の連絡ポータルサイトや朝の職員打合せで注意喚起を行い、服務遂行の周知徹底を行った。5月の会議で職員行動指針の確認と服務に関する自己チェックを実施した。課題は、全体の奉仕者であることを日頃から常に意識し続けることである。</p>
<p>○個人情報の管理、取り扱い、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報について理解を深め、個人情報の保護かつ安全な運用を目指す。 	<p>「情報管理OJT」の発行に加え、中学部職員が、事例を用いて標語を作成した。課題は、「ミスは起こりうる」ことを念頭に置き、複数確認に加え、日常的に声を掛け合う職場環境を保つことである。</p>
<p>○体罰、不適切な指導の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の人権を尊重し、障害や行動特性に応じた適切な指導を行う。 ・新規配布予定の「体罰防止リーフレット」を活用した職員研修を実施する。（新） 	<p>人権研修会は新型コロナの関係で外部講師招聘は見送り、DVD視聴後にワークシートに記入し、少人数で意見交換を行う形式で実施した。密を避けるため6回の分散開催とした。また、東分教室職員が、体罰や不適切な指導が起きやすい環境について、「密閉した指導環境、密接した距離感、過密スケジュールや多忙による思考停止」という視点から分析し、参考図書を紹介も行った。課題は、一人ひとりが当事者意識を持ち何かあったらその場ですぐに声を掛け合う職場環境を保つことである。</p>
<p>○職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止 ○児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の意思や尊厳を守り、年齢や性別にふさわしい対応・指導を行う。 ・R2.4.1付一部改正懲戒処分指針を全職員に配布し、周知する。（新） ・職員間あるいは日常生活において、他者の人格を尊重し、品位ある言動・行動を心がける。 	<p>南分教室職員が、過去に遭遇した「セクハラ事例」を取り上げ、「セクハラ基準は自分の中にはない、相手の捉え方にある」ということを再確認した。そして「手をつなぐずに心をつなごう」というキャッチをもとに、年齢相応の対応について注意喚起を行った。課題は、相手の立場に立って考える姿勢を、忘れずに実行することである。</p>

<p>○入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別教育計画、進路、実習関係書類作成時の管理と処理を適切に行う。 	<p>高等部職員が、校内のヒヤリハット（誤配付、紛失）を事例に取り上げ、「3大クリーン作戦（デスク、デスクトップ、ハート）」の標語を各職員室に掲示した。課題は、各自の机上、教室、教材室など、定期的に棚卸をする機会を持ち、整理整頓を保ち続けることである。</p>
<p>○財務事務等の適正執行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計処理を実行する。 	<p>私費会計の執行手順を見直し、副校長の事前承認を徹底した。課題は、校内だけでなく、銀行等関係機関とも情報交換をし、より円滑に事務処理を進めることである。</p>
<p>○業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談の重要性を理解し実行する。 ・各自が時間管理、スケジュール管理に努める。 ・業務や会議の効率化を図り、協力体制づくりを進める。 ・各自が学校全体を考え、主体的に業務に取り組む。 	<p>「ノー残業デー」を呼びかけ、ワークバランスづくりを周知した。連携支援職員が、情報共有の方法、相互チェック体制、個人情報や重要情報の取り扱いについて発表した。課題は、今年度は新型コロナの観点から大幅に業務を見直したが、今後に向けて再検討することである。</p>
<p>○交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生を未然に防止する。 	<p>小学部職員が資料を作成し、寸劇も交えながら注意喚起を行った。課題は、万が一事故が起こった際の影響範囲を想像し、日々時間的に余裕を持った行動を続けることである。</p>
<p>○適切な休暇取得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に休暇を取得することにより、心身の健康を保ち、ミスが減らし事故を未然に防止する。 	<p>学校閉庁日を夏季3日、冬季2日の計5日設定し、計画的な休暇の取得と確実な手続きについて周知徹底した。課題は、休暇を取りやすい環境づくりである。</p>
<p>○不祥事ゼロの徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員との個別面談を通じて注意喚起を行い、不祥事を未然に防止する。 ・毎月の啓発点検資料等に掲載される「校長コラム」を活用し、啓発及び職員一人ひとりの当事者意識の醸成を行う。（新） 	<p>外部研修の機会が少ない臨時的任用職員及び非常勤職員に対して、資料をもとに面談形式で研修を行った。課題は、定期的な注意喚起をマンネリ化させず、気持ちを新たにす機会とすることと、ミスは起こりうるという意識を持ち、起きてしまった際の事後処理を迅速かつ適切に行えるようにすることである。</p>